

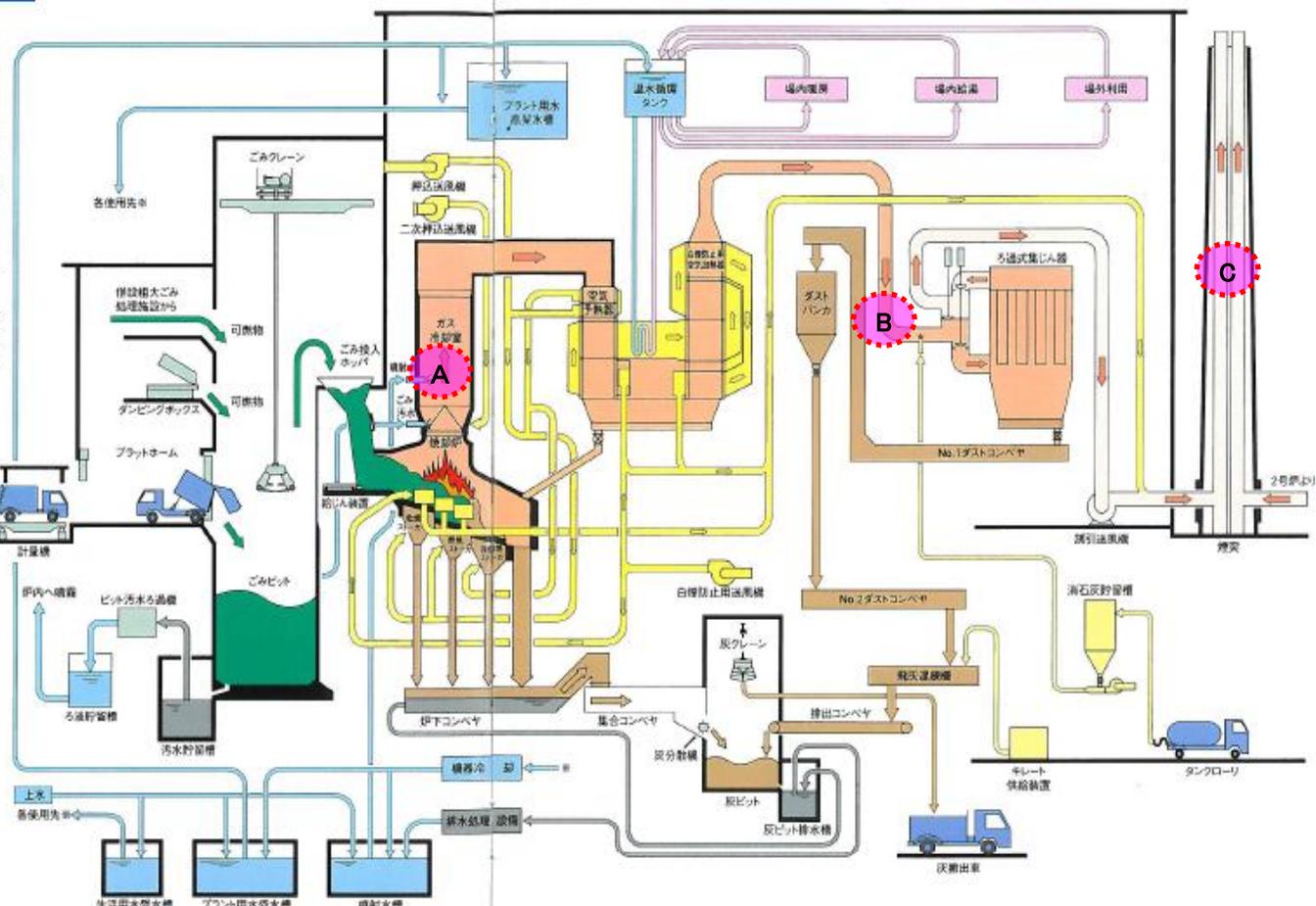
佐渡クリーンセンター測定位置図

ごみ処理施設系統図



●中央制御室
 プラント全体の頭脳にあたる「中央制御室」では、施設内すべての機器の運転状況をモニターで集中監視するとともに、各機器の安定した運転をコンピュータでチェックし、遠隔操作で的確にコントロールします。

- A** 燃焼ガス温度測定位
 - B** 集じん器流入ガス温度測定位置
 - C** 排ガス中CO濃度測定位置
 ダイオキシン類測定位置
 排ガス中ばい煙濃度
- 灰 → 排水
 → 空気 → 温水
 → ガス



ごみの流れ
 一般家庭から出されたごみは、収集車でごみ処理施設へ運ばれ、計量機で計量・集計した後、プラントホームからごみピットに投入されます。いったんピットに貯留されたごみは、ピット内でよく混ぜ合わされた後、クレーンでごみ投入ホッパに供給され、焼却炉内へ送り込まれて焼却されます。

灰の流れ
 焼却炉内で焼却されたごみは、灰となって炉下コンベヤへ落下し減火、冷却され、水を切った後、集合コンベヤによって灰ピットへ搬送・貯留されます。また、ろ過式集じん器で集められた灰は、脱灰固化装置で薬剤処理された後、灰ピットに貯留されます。これらは灰クレーンによって灰搬出車に積み込まれ、最終処分場に運ばれます。

空気の流れ
 ごみの焼却に必要な空気は、送風機によってごみピットから吸い込まれ、空気予熱器で焼却に適した温度に加熱された後、各ストークの下から炉内へ供給されます。このように、ごみピット内の空気を使用することで臭気が外部に漏れるのを防いでいます。

燃焼ガスの流れ
 ごみの焼却によって発生した燃焼ガスは、ガス冷却室、空気予熱器で温度を下げられます。その後、ガス中の有害成分と微細なばいじんが有害ガス除去装置となるろ過式集じん器で取り除かれ、無公害ガスとなる誘引送風機で煙突から放出されます。

排水の流れ
 ごみピット汚水は、炉内に噴霧して処理しています。その他の排水は、場外へ出さないように処理設備で処理した後、再利用しています。(クローズドシステム)